

会 議 名	令和5年度第1回 木更津市駐屯地に関する協議会漁業協同組合部会		
開 催 日	令和5年9月6日(水)	場 所	駅前庁舎 防災室・会議室
時 間	午後3時～午後3時40分まで		
出席者	石井委員(木更津市企画部長・部会長)、高橋委員(金田漁業協同組合長)、江野澤委員(新木更津市漁業協同組合長)、根本委員(新木更津市漁業協同組合参与) 加茂1等陸佐(陸上自衛隊第一ヘリコプター団 高級幕僚)、姫野2等陸佐(陸上自衛隊第一ヘリコプター団第三科長) 白川室長(北関東防衛局地方調整課基地対策室)、渡邊係長(北関東防衛局地方調整課基地対策室)		
議題	木更津駐屯地に配備されている航空機の運用に関する懸念事項等について(公開)		
その他	なし		
配付資料	01 会議次第 02 委員名簿及び出席者名簿 03 【資料1】木更津駐屯地に関する協議会の概要 04 【資料2】第3回木更津駐屯地に関する協議会定例会の開催結果 05 【資料3】木更津駐屯地に配備されている航空機の運用に関する懸念事項等について (参考資料)第3回木更津駐屯地に関する協議会定例会議事要旨 (参考資料)木更津駐屯地に関する協議会設置要綱 (参考資料)木更津駐屯地に関する漁業協同組合部会設置要領		
概要	議題 木更津駐屯地に配備されている航空機の運用に関する懸念事項等について 【説 明】 ●青木 木更津市企画課基地対策係長説明 説明資料3に基づいて説明 【主な質疑応答・意見等】 高橋委員)金田地区では、オスプレイが毎回同じ経路を同じ高度で飛行している。最近では、何機も飛行していて、また、事故もあったせいか、初めて金田を訪れた方からは、向かってくるような感覚で恐怖心を覚えると聞いている。飛行する経路や高度を工夫していただくことはできないか。 姫野第三科長)飛行経路に関しては、陸上自衛隊のみならず、あらゆる航空機が、何か不具合があった場合に飛行場に降りるということで、国交省に申請した経路を設定しており、経路を容易に変更することができないということをご承知おきいただきたい。また、高度についても羽田空港の離発着機が上空を通過するため、木更津周辺は飛行高度に制限があり、容易に高度を上げることができない状況である。我々としても、住宅の上空を飛行する際は、努めて高い高度で飛行しているが、さらに高度を上げることができないということをご承知おきいただきたい。 高橋委員)そのため、いつも飛行経路下の住民は、家が揺れるくらいの振動や騒音がすごいということなので、配慮していただきたい。 石井部会長)昨年の部会の中でも、そういったご意見、ご質問があったと思うが、可能な範囲で飛行経路をずらすなどの配慮をしていただけるという回答があったと認識しているが、それについてはいかがか。 姫野第三科長)例えば、民家上空から畑の上空へ飛行経路を若干ずらすことはしている。一方で、大きく経路をずらす場合、それによって他の航空機とのニアミスにつながる可能性もあるため、航空交通安全上、大きくずらすことは難しいということについては、ご理解いただきたい。 根本委員)新木更津市漁業協同組合も金田漁業協同組合も潮干狩りを営業している。来年度の潮見表であれば秋頃には出来上がるが、お客様からの苦情が来年度の営業に影響するので、潮見表を確認していただきながら潮干狩りの時間を避けて飛		

	行訓練を行っていただきたい。特に江川地区、木更津地区は騒音が大きく、お客様とのやりとりの声が聞こえないときがある。来年度の来場者数に響く懸念があることから、配慮いただけたらと思う。 姫野第三科長)日々の訓練でご迷惑をおかけし大変申し訳ない。潮干狩り場の上空を避けるための飛行経路の一つとして、他の懸念事項にもあった、滑走路から木更津駐屯地洋上に向かって飛行する経路がある。また、潮干狩り場の開場時間を毎日確認し、飛行運航者への徹底を図っている。そこで、場周経路下に開場している潮干狩り場があれば、木更津駐屯地西側の洋上に離陸をしている。また、漁師の上を飛行することへの懸念があると思うが、航空機の不具合によって、最悪の場合、海上に着水することも考慮し、船、あるいは人の上を飛ばないということを常に追求しており、もし船があれば、必ず経路をずらすようにしている。漁業者の迷惑にならないように追及しているつもりではあるが、引き続き、操縦士が留意を怠ることがないように、必ず潮干狩りの状況等の確認を徹底してまいりたい。 江野澤委員)海苔養殖に係る作業で海に行ったときに、オスプレイが頭上を低空飛行していた。潮干狩りがやっていなかったときなのでいいが、騒音が大きく、かなりうるさかった。 また、米海兵隊のMV-22 オスプレイは木更津駐屯地にあるのか。 姫野第三科長)(米海兵隊MV-22オスプレイの)訓練等は全く実施しておらず、今後も実施しない。米軍の運用上、MV-22 オスプレイについては答えかねるが、日米の共通整備基盤として、定期的な整備が必要になった場合は、MV-22 オスプレイが沖縄から飛来し、株式会社 SUBARU が木更津駐屯地で整備を行っているということについて、ご承知おきいただきたい。 江野澤委員)整備が終わった後、点検のための飛行はしないのか。整備が終わったらそのまま沖縄に帰るといふことか。 姫野第三科長)整備試験飛行というものがあり、確認のためのフライトを実施し、終了次第帰投することとなる。 石井部会長)定期機体整備で木更津にあるMV-22オスプレイに関しては、市のホームページで周知している。 青木係長)沖縄の普天間飛行場所属の米海兵隊MV-22オスプレイの定期機体整備の状況については、防衛省北関東防衛局から情報提供をいただき、プレスリリース及び市ホームページで公表を行っているが、現時点では、3機のMV-22オスプレイが木更津駐屯地内の格納庫で整備しているという情報提供を受けている。一方で、現在の詳しい整備状況までは承知していないが、格納庫の中で、分解して各種装置の点検等を行い、その後、基地内でのホバリング、試験飛行を実施することとなり、試験飛行は、東京湾と相模湾上空で行うということで、整備企業である株式会社 SUBARU、防衛省、米側で覚書を結んでおり、整備終了後に試験飛行を行い、普天間飛行場に帰投することとなる。 高橋委員)潮干狩りについてだが、前年度も、潮干狩りの開場時間は、飛行を控えていただきたいという要望をしたと思うが、やはり飛行している時間は午後からであることから、本当に潮見表を見ているのかと思ってしまう。金田の潮干狩り場は、アクアラインの南側で飛行経路となっているため、工夫していただきたい。 【その他】 無し
--	---